

# 夏を盛大に彩る祭り



大至さんによる  
相撲甚句



水戸ご当地アイドル(仮)



力士に挑戦



インターナショナルレディーズ相撲



ちびっこ相撲



神輿・お囃子の競演



## 関城の祭典 第24回どすこいペア2013

今年も恒例の関城の祭典「どすこいペア」が、8月25日、関城支所で盛大に開催されました。

どすこいペアは、市の特産品である梨の収穫を祝って行われていた「梨相撲」にちなんで始まった祭りです。「どすこい」は相撲の掛け声、「ペア(PERARR)」は英語で梨を意味します。

24回目を数える今回は、14年ぶりにレディーズ相撲を復活。中国やフィリピン出身など約20人の女性が、豪快な投げ技などを披露し、会場を大いに湧かせました。

ちびっこ相撲では、幼稚園や保育園の年長者と小学1年生約80人が参加し、元気いっぱい熱戦を繰り広げました。

ステージでは、特別ゲストのいばらき大使で元幕内力士大至さんによる、「勝っても負けても梨相撲」と銘打った筑西市にちなんだ相撲甚句や、水戸ご当地アイドル(仮)によるショーなどが行われ、訪れた観客を盛り上げました。

クライマックスは市内の神輿やお囃子が競演。日が落ちたあとの夏の夜を彩りました。



関東最大級  
45ホール

オープンコンペのお知らせ

- 10月5日(土) 筑波チャレンジカップ 参加費 1,500円
- 10月9日(水) 月刊パークゴルフ新聞杯 参加費 2,000円
- 10月23日(水) 大島スポーツ・アシックス杯 参加費 2,500円

下館パークゴルフ場 国際パークゴルフ協会公認コース 筑西市茂田ザ・ヒロサワ・シティフーフ・ヨイパーク TEL.0296(22)4189



就職氷河期に、求人が10倍!  
歯科医師のハートフルなサービス 歯科衛生士

体験入学 10/19 学生募集 11/30

高い国家試験合格率 就職率100%の実績校 独自の奨学金制度があります

ホームヘルパー2級資格取得 無料スクールバスが運行します(下館駅より)

学校見学 受験相談も受付中

つくば歯科衛生専門学校 筑西市茂田ザ・ヒロサワ・シティ TEL.0296(23)1220



## 夏の日の思い出 2013

# あけの ひまわり フェスティバル



除草作業の様子



夏休み最後の8月31日から9月8日まで、明野ひまわりの里で「あけのひまわりフェスティバル」が開催されました。

24年目を迎えるひまわりフェスティバルは、今年も八重ひまわりと黄花コスモス合わせて百万本の花々が見事に咲き誇り、55,000人の来場者を楽しませてくれました。

会場の切り花販売も好評で、来場のみなさんは、はさみを持ち、お気に入りの花を切り取っていききました。



陸前高田花っこ畑のみなさん



今回のフェスティバル開催のために、6月28日早朝に種まきを行い、8月3日には明野ひまわりの里実行委員会（鈴木健一会長）を中心に、約250人のボランティアによる夏の除草作業が行われました。

また、今年も「陸前高田花っこ畑」のみなさんが被災地陸前高田で育ったひまわりの種をまき、ひときわ大きな花を咲かせてくれました。



(関連施設)  
下館パークゴルフ場、  
広沢農園・貸農園、広沢学園、  
下館オフトードコース、  
マウンテンバイクオフトードコース

10月14日(月) 開場17周年記念杯 セルフ 13,000円

10月30日(水) 秋の味覚杯 セルフ 10,000円

料金には、朝食代(バイキング形式)・昼食代・税金・パーティー費・参加費を含みます。  
※ご参加は1名様から申し込み可。 ※18Hストロークプレー・新ベリア方式。  
※キャディ付は4名様1組 10,000円でご用意いたします。

### 完全セルフデーのご案内(まわり放題)

10月/ 1日(火)・4日(金)・7日(月)  
11日(金)・15日(火)・18日(金)  
21日(月)・28日(月)・31日(木)

※コンペ等のご予約により、通常営業となる場合がございます。  
プレー料金 5,200円(まわり放題・昼食なし)  
★現金による前払い ★ロッカー使用可 ★お食事持ち込み可  
★割引券の使用はご遠慮下さい ★クラブハウス施設利用不可

下館ゴルフ倶楽部

(公社)日本パブリック  
ゴルフ協会加盟コース

筑西市茂田ザ・ヒロサワ・シティ  
TEL.0296(20)1111

文化のまち筑西が生んだ

# 陶聖、板谷波山

没後50年

日本の近代陶芸の開拓者であり、陶芸家としては初の文化勲章受章者である「板谷波山」。

芸術に捧げた91年の生涯は、没後50年経て、今なお陶芸の世界に燦然と輝き、陶聖と敬われています。

生誕の地である筑西で、陶聖・そして「人間・板谷波山」の魅力を感じてください。

## 生誕から上京

板谷波山（本名・嘉七）は、明治5年（1872年）真壁郡下館町（現筑西市）で醤油醸造業を営む父・増太郎、母・宇多の三男として3月3日に生まれました。

文人画を描く父の影響を受け、小学校の頃から陶芸に強い関心を持っていたと言われています。

## 陶芸家として活動

東京美術学校（現東京芸術大学）に入学しますが、当時東京美術学校には陶磁器関係の学科はなく、彫刻科へ入学しました。

東京美術学校では、岡倉天心・高村光雲らに指導を受け、卒業後、石川県立工業学校で教諭として陶芸を指導しました。

だが、のちに本格的に作陶に打ち込むようになり、職を辞して東京に戻ります。

田端に土地を借り、粗末な家と作業場を持ち、妻子を呼び寄せ、妻・まると二人で窯を完成させます。そして、明治39年、ついに初窯焚きにこぎ着くことができました。

明治43年からは「もう一人の波山」と呼ばれるろくろ師現田市松が加わるようになります。

## 波山芸術の開花

窯で焼かれた波山の作品は、東京勸業博覧会や日本美術協会の第42回展で最高賞を受賞し、陶芸家板谷波山の名声が広く知られることとなりました。

また、明治44年には妻・まるとともに、御前制作の榮譽にあずかります。太平洋戦争で工房を失い、

## ふるさとへの思い

波山は、愛するふるさと下館に住む80歳以上の高齢者に1933年から19年にわたり、長寿を祝して自作の「鳩杖」を319本送り続けました。

